

2019年度 第1回 5月 難関大記述模試

日本史B・採点基準 記述・記号部分

◆共通の原則◆

1. 漢字で書くべき用語（語句）のひらがな表記には得点を与えない。また、ひらがなで書くべき用語（語句）の漢字・カタカナ表記にも得点を与えない。
2. 判読しにくい文字についてはできるかぎり善意に解釈して採点する。
3. 部分点は設けない。
4. 「漢字○字で」と指示した設問に対して『』を加えて字数を一致させた答案を示した場合、『』は漢字ではないなどの理由から不正解とする。
事例) 「漢字5字で」… ○建武年間記 ×『建武記』

1 原始・古代の建物（2点×10＝10点）

2 中世の北方世界（2点×10＝20点）

3 近世の史料（2点×10＝20点）

4 近代の文化人（2点×10＝20点）

5 治安維持法（2点×10＝20点）

*注意事項・許容解など

特になし。

論述部分

◆論述問題・添削記号◆

難関大本番レベル記述模試・日本史Bの採点では、次のような添削記号を用いています。

- | | |
|-----------------------|-------------|
| 1. <□□□□> | 加点要素 |
| 2. □□□□
~~~~~ | 表現に難あり |
| 3. □□ [∨] □□ | 文要素の欠落／脱字 |
| 4. □□ [×] □□ | 誤字（略字を含む） |
| 5. □□□□ ^x | 内容に誤りあり |
| 6. 「□□□□」 | 設問要求に答えていない |

◆論述問題・共通の基準◆

- 採点基準においては加点要素を、**3点**のものは太字・アミカケ□□で、**2点**のものは二重線□□で、**1点**のものは下線□□で、それぞれ示している。採点に際しては常に前後の文脈に留意する（◎で示した事項、（ ）内に示した事項に内容が反していないかを確認する。許容する事例や加点要素の要件を一部しか満たしていないため配点未満の得点を与えるといった例外的対応などについては※で示してある）。
- 歴史用語**（赤字で表示）についての誤字、当て字、漢字で記すべき語句のひらがな・カタカナ表記は、それが加点要素に直接関係する場合、**1点減点**。カタカナで記すべき外国名の漢字1文字の表記は、単独でもちいる場合、**1点減点**。同一語句・文字がくりかえし誤っている場合は、それぞれを減点の対象とするのではなく、まとめて**1点減点**とする。加点要素とは直接関係しない箇所にも誤字・当て字があった場合、減点しない。
- 設問によっては加点要素の合計が配点を超えている場合がある。ただし、各問とも配点を満点としてこれを超える得点は与えない。

1 原始・古代の建物（論述部分）

問6 持統天皇が遷都した宮都

◆加要素の合計6点→6点満点◆

◎持統天皇が遷都した宮都

- a 藤原京 …… 2点以内
- b 条坊制をとった／都城だった／京域を備えた …… 2点以内
- c 官人〔官僚〕が集められた〔住まわせられた〕／永続性をもった／天皇3代〔数代〕にわたった …… 2点以内

問7 国風化

◆加要素の合計4点→4点満点◆

◎文化の国風化

- a 感情〔感覚〕を表現しやすいかな文字〔平かな／片かな〕が定着〔発達〕した …… 2点以内
※「かな文字〔平かな／片かな〕が定着した」は1点
- b 和歌の発達や〔かな〕物語〔日記／随筆〕の著述 …… 2点以内
※「和歌の発達」「〔かな〕物語〔日記／随筆〕の著述」は1点
※『古今和歌集』／『源氏物語』／『土佐日記』／『枕草子』など具体的な作品の提示のみの表記は非加